

6. スロットルグリップを閉じ、スタータボタンを押します。

**エンジンが暖まっているときは、スロットルグリップを1/8から1/4ほど開き、スタータボタンを押します。**

通常の場合これでエンジンがかかります。  
(エンジンがかからないときは、70ページ記載の要領で確認してください)

7. エンジンがかかったら、チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転し、チョークレバーを完全に戻してからスタートします。

**※この車は、セーフティスタータ機構を採用していますので、チェンジが入った状態では、エンジンは始動しません。但しこの状態でも、クラッチレバーを握ればエンジンは始動します。**

### 注意

- ・スタータボタンを押して5秒以内にエンジンがかからないときは、10秒くらい休んでからまた押してください。
- ・これはバッテリー電圧を回復させるためです。
- ・無用の空ふかしはしないでください。
- ・ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジンにも悪影響を与えます。

### 注意

- ・排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中や、せまい場所での始動は避けてください。
- ・エキゾーストパイプの色は変化します。これは排気熱による自然変化のためですが、機能上の影響はありません。
- ・エキゾーストパイプのお手入れは、68ページをご参照ください。